

安全な卵生産法紹介

都城の企業 親子招き見学会

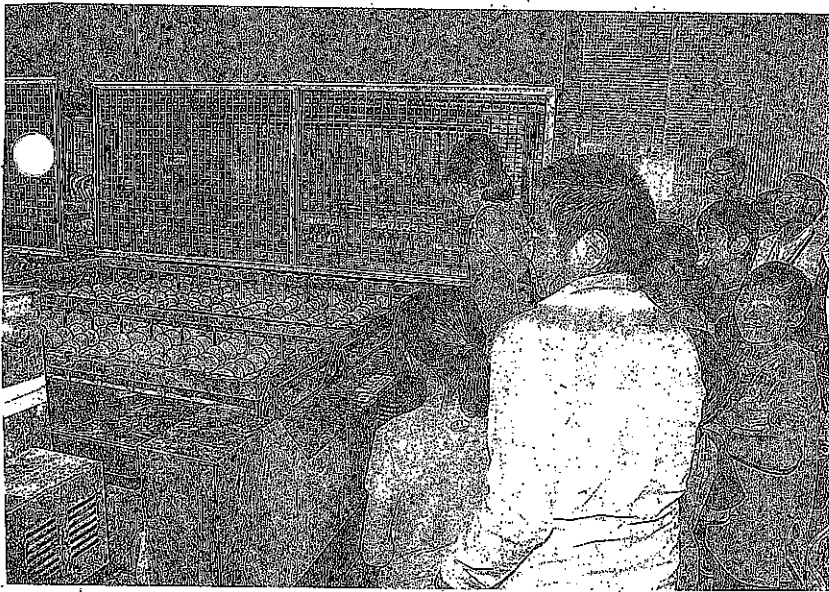
都城市の鶏卵生産・販売企業「フュージョン」（赤木八寿夫社長）は20日、同市のスーパーマーケット運営「ながやま」（永山幸弘社長）に協力を呼び掛け、初めての「たまご工場見学バスツアー」を開いた。自社の卵を購入している家族連れを市内の工場などに案内し、安全な卵の生産に努める姿勢を紹介した。

昨年3月に岡崎鶏卵と事業統合し、同市でもフュージョン名で卵の販売を始めたことから、消費者に親しんでもらおうと開催。得意先のながやまで卵を買い求めた家族を抽選で招待し、同市と宮崎市から11家族、31人が参加した。

参加者はHERA RYながやま鷹尾店（都城市）に集合後、鹿児島県曾於市の養鶏

場「ウツケ山農場」へ。数種類の鶏が産んだ色の卵を産んでいる様子や、他の動物が入り込まないよう安全管理を徹底している様子を学習。同市高城町の同社GPセンターでは、養鶏場から運ばれた

大量の卵が洗浄、検査され、大きな重さの袋にパック詰



養鶏場から運ばれた卵が洗浄される様子を見学する参加者ら

めされる工程などを見学した。

母親と参加した安久小5年の緒方ゆりさん（11）は「センターでは、卵が割れてないか小さなハンマーで一つ一つたいて検査していることなどを、楽しく知ることができた」と感想。フュージョン経営戦略室の東郷和也室長は「卵は身近だが知らないことも多いので、理解する機会になればうれしい」と話していた。

（鳥越眞也）